

人生100年時代の楽しみ方

第19回

大掃除をきっかけにフリマアプリを活用

篠原 克周

フリーランスライター

ロンドンビジネススクールの教授、リンダ・グラットンが著した本『LIFE SHIFT — 100年時代の人生戦略』が注目され、日本でも「人生100年時代」という考えが知られるようになりました。みなさんは、もし100歳まで生きるとしたら、どんな人生を送ってみたいですか。ここでは、人生100年時代を楽しむための、ヒントやアイデアを探ります。第19回のテーマは「大掃除をきっかけにフリマアプリを活用」です。

●物置や押し入れの奥に潜む「かくれ資産」

さて今年も残りわずかとなりました。年末の大掃除をはじめると、家の中にあまり使っていないものが、物置や押し入れの奥に仕舞い込んであることに気づきませんか？ これら家に眠っている不用品や持ち物は「かくれ資産」と呼ばれていて、金融資産や不動産資産に続く、第三の資産として近年注目されています。

最も、かくれ資産を多く抱えているのは、高度経済成長やバブル時代を経験し、多くのモノを買ってきた中高年世代です。2018（平成30）年、ニッセ

イ基礎研究所が調べたところ、一世帯あたりのかくれ資産はおよそ70万円（対象は1年以上使っていない不用品／車やバイクを除く）で、日本全国のかくれ資産総額を見ると、推計37兆円にもものぼると見られています。

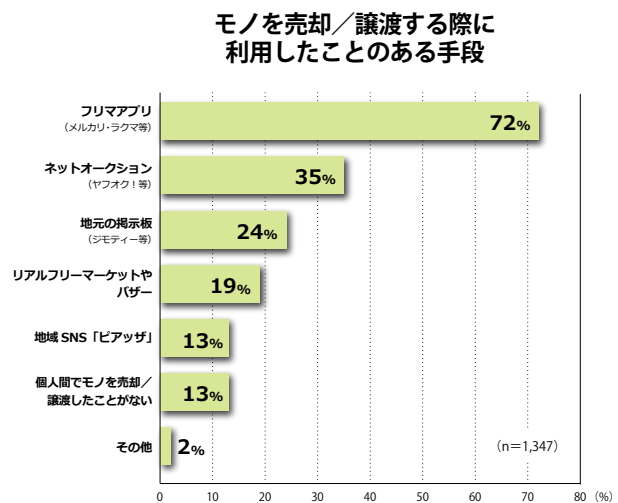
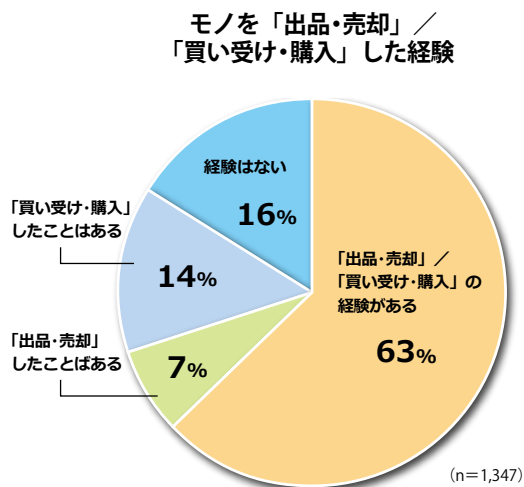
かくれ資産を持つ「かくれ資産家」には、顕著な生活スタイルがあります。それは収集癖がある人、インドア派、そしてモノを捨てられない人です。みなさんの家の中にもブランド品、時計やアクセサリ、衣類や靴、家具や家電、ゴルフ用品、小説や漫画、レコードやCD、子どもの頃に遊んだおもちゃやゲームなど、かくれ資産になりそうなものはないでしょうか？ 既に持っていることさえ忘れているモノが「思わぬお宝に」なんてことがあるかもしれません。

●大掃除や就活をきっかけにフリマアプリを

年末の大掃除に合わせて終活を、と考える人もいます。しかし、いざ身辺整理や断捨離を試みると、捨てるのは忍びない、と思う品々がきっと出てくるはず。希少価値があるとされ購入したモノ、マニアックなファンに根強い人気のあるモノ、セットで購入したモノ、シリーズで集めたモノなど、これらを引っ張り出してきて、久しぶりに目にしてしまうと、ついつい整理する手が止まってしまうかもしれません。

こういう思い入れのあるモノを捨てるのは抵抗があると思いますが、必要としている人や、モノを大事にしてくれる人にうまく譲ることができれば、少しは「処分する」気持ちを和らげることができるかもしれません。そして、ちょっとした収入になるのもありがたいです。





PIAZZA 株式会社「個人間でのモノの譲り合いや売却に関する意識調査」をもとに作成

とはいえ、どうやって譲ればいいのか。手間がかかるのではないかな。売ったとしても大した金額にならないのではないかなど、さまざまな疑問も湧いてきます。

リサイクルショップやフリーマーケットなどがすぐに頭に浮かぶと思いますが、査定金額が低くなりがちだったり日時や場所が限定されたりで、二の足を踏んでしまいます。そういうデメリットや煩わしさを解消してくれるのがフリマアプリです。フリマアプリは、オンライン上にあるフリーマーケットのようなサービスで、個人間で中古商品を売買することができます。

また、ネットオークションなどとは異なり、出品者自身で価格を設定できるので、ある程度納得のいく売買ができるのもいい所です。価格はリサイクルショップなどと比べて抑え気味の設定が多く、欲しい人側にとっては安価で購入できるメリットがあります。

● まずは指南サイトや YouTube で使い方を研究

フリマアプリの代表格は「メルカリ」「ラクマ」「PayPay フリマ」です。スマホやパソコンがあれば、無料ですぐに登録・出品ができます。ちなみに商品の売上金の5%～10%が販売手数料として運営会社の取り分になります。決済の代行は運営会社がやってくれるので、ユーザー同士で金銭の直接やり取りをする必要がないというのも安心感があります。

「でも実際、使うとなると難しいのでは？」という人もいます。そんな人は、まずWEB上にある初心者向けの指南サイトや使い方ガイド (YouTube) を見て全体像を掴むといいでしょう。登録から商品の撮影の仕方、出品から梱包・発送、売買相手とのやり取りまでを解説しているので役立ちます。特に、動画で解説している YouTube はわかりやすいです。

コロナ禍となってからは、インターネットを活用するシニア層が増えており、フリマアプリを使う人たちも増えていると言います。運営会社もこの波を後押しし、オンラインでのシニア向けフリマアプリ教室をはじめ、利用者同士で情報交換や体験談などを語るサロンや中高年向けの限定セミナーなどを開催していますので、参加してみるのもいいでしょう。

最後に、フリマアプリは、幅広い年齢層の利用者がいるので、ネット上でのマナーやルール、リテラシーに差が出ることもあるので、双方に気づかいや思いやりのあるやり取りが必須です。最初は戸惑うことも多いかもしれませんが、売買をする過程で、購入者と良いコミュニケーションが取れることもあり「物を処分する」「お金を得る」だけではない、社会や人とのつながりを感じられる機会などもあるようです。みなさんも大掃除や終活をきっかけに、自宅の中の不用品を見直し、フリマアプリの利用を考えてみてください。